

1. 学校教育目標

今年度の重点目標
 ①安心安全な学校(いじめ防止・早期対応 心理的安全性の確保)②社会を生き抜く力(自律 基礎基本 個別最適 協働 探究学習)③学校・職場づくり(保護者・地域とともにある学校 働き方改革)□

2. めざす子ども像

中期的な学校経営目標 ・「自ら学び、自他を尊重し、仲間と高めあえる子の育成」・スローガン ～毎日楽しい学校～ ・めざす学校像 児童が感動し、児童の期待に応える学校

記入例を参考に、作成をお願いします。

基本方策	重点項目	具体的な取組内容					
		本年度の重点的な取組(4月)	取組指標(誰が、何を、どのくらいの頻度で)	評価指標(目標)※具体的な数字を入れる	指標の結果	分析(成果と課題)	改善策
確かな学力と自立の力を育む教育の充実	基礎学力の向上	朝学習(オビタイム)の推進	毎朝15分のオビタイムにおいて、漢字前倒し及び反復学習・音読・百ます計算	12月学年別「熟語」テスト 平均正答率70%以上(3月80%) 保護者アンケート 学校は、基礎基本の定着に向けて取り組んでいる 90%以上	12月熟語計測テスト平均正答率 68% 基礎基本の定着に取り組んでいる 90.8%	●漢字は、過去実績から3月3回目の計測テストでは十分目標(80%)達成可能である。 ●←「計画を立てて学習」目標設定の根拠である昨年度の数字が誤り 66.2% ●10/26総合芸術センターでの25周年ライブで発表され、実行委員会児童がコーラスで出演するとともにアルバム収録。児童集会で全校児童に披露され、以来朝、昼の放送時間にヒーローテンション。全校で盛り上がる中、4年生企画の6年生を送る会での全員合唱が決定した。 ●自分たちの力で学校をより良くできる。90.5%◎	●ETテストの結果にはばらつきがある。学年、学級ごとに精緻に分析して、取り組む課題を発見し、校内研究を中心にして改善を図っていく。 ●4年生では1年間かけた総合の「たのつく」では市内ものづくり企業団(不器用ファクトリー)と連携して2/3に五常EXPOを開催。休み時間の「たのつく」では、保護者を巻き込み秋の遠足企画を行う。6年生を送る会「2月参観企画」など15企画。 ●来年度の校内研究テーマには探究基礎を選定し、全学年、全校の取り組みとしていく。
	自律的に学ぶ力の育成	五常小検定の実施	漢字、百ます計算、音読・暗唱のマイスター認定制度の運用(2学期より)	段位獲得児童 のべ500名以上 児童アンケート 家で自分で計画を立てて学習している 85%以上	12月末時点段位獲得者延べ200名 自分で計画を立て学習 68.1%◎		
	自己決定できる子ども主体の学びの校内研究	探究学習・PBL	児童の実行委員会と枚方出身のアーティストとて本校の応援歌を作成する。	クラウドファンディングによる資金調達。全校に歌詞募集。応援歌の完成。	2回のETテストで計測 学ぶ意欲と学習スキルの向上		
豊かな心と健やかな体を育む教育の充実	いじめ不適切事案が起きにくい風土の醸成	ぶれない生徒指導	6年生がつくった「わたしたちの学校安心ルール」に基づき自制心・自律心を育てる課題予防的生徒指導を行う。	児童アンケート 先生は自分たちの意見や考えを大切にしてくれる 90%以上 落ち着いた雰囲気の中で授業を受けている 84%以上	先生は自分たちの意見や考えを大切に 96.0%◎ 落ち着いた雰囲気の中での授業 81.9%△→3学期アンケートでは達成を見込む。	●職員室にルール表を大きく貼りだし、これに基づきレベル判定し対応していくという思考ができるなど、全ての指導の根拠となりつつある。教職員からは、事案に対する対応が標準化・可視化され迷わなくてよくなったという意見がある。 ●キャリア教育は外部専門家による5年での試行実施を踏まえ来年度の体系的・系統的な本格実施につなげる。	●本格運用によりルールの事前明示を通じて児童の自制心を養い、いじめ等不適切行動を抑制する風土を醸成していくこと。 ●今後のルールの改定、公約ルール等制定を通じて、民主主義を日常生活の自分ごとに引き寄せた主権者教育を行っていくこと。 ●キャリア教育が来年度以降全校の取り組みとなるよう道筋は付けたが、実際に進めていくことは簡単ではない。教育計画の重点項目に位置づけ、3月末までに体系的・系統的に整理した具体的実施計画を完成させる。
	自他を尊重し、主体的に学ぶ力の育成	キャリア教育の充実	外部キャリアコンサルタントと連携し、自己・他者理解を深めるプログラムを実施する。児童が自分の興味・関心の方向性に気づき、自身について知ろうとする意欲を育てるとともに、他者の尊重を学ぶ。全ての学びを自分ごととして捉える主体性の獲得をねらう。教職員の研修と、学年範囲を限定しての授業を試行実施する。	目標)児童アンケート もっと自分のことについて知りたいと思う。70% もっと自分のことを大切にすべきだと思う。70% もっと友だちのことを大切にすべきだと思う。70%	もっと自分を知りたい。68.5%△ もっと自分を大切に。81.5% ◎ 友だちを大切に。95.7%◎		
教職員の資質と指導力の向上	児童との時間を生み出す働き方改革の推進	超勤時間管理 業務の精選 業務改善チームの稼働 ワークエンゲージメントの向上	教職員個別の時間外勤務時間を見える化。教職員のボトムアップで細かい業務の精選と削減。休み方改革の実施。人事施策で、職員室のコミュニケーションを改善。学年個性の発揮、裁量性の高い取り組みの促進 安全衛生委員会の発足(クラス経営)業務の標準化。	平均超勤時間の削減 昨対 1H/月・人 ストレスチェック指標の良化 教員アンケート 校長は業務改善を図り働き方改革を行っている。82%以上 教職員は業務改善を意識して働いている。77%以上	超勤削減は、▲2.6H/月・人◎ で月平均20Hを下回る予定。 チェック指標→特に女性の「働きがい」「裁量度」が向上。◎ 校長は業務改善を図り働き方改革をしている。81.8%◎ 教職員は業務改善を意識して働いている。72.7%△	●教職員主導の業務改善委員会より留守電対応時間の拡大が実現、今後保護者対応時間の標準化の提案があり実現の予定。◎ ●健康管理年休取得制度の思想は定着した感がある。◎ ●学年全体での探究的な取り組みが特に充実。◎ ●安全衛生委員会を職場環境改善の受け止め先と確定。◎	●働き方に関する大きな業務改善はすべて終えているので、今後継続的に教職員の意見から改善を実現することが重要だ。 ●業務標準化が定着、来年度は合理的配慮の標準化をめざす。
社会に開かれた学校づくり(保護者・地域とともにある学校)	保護者・地域の主体的な参画の実現	保護者が校長へ直接意見を届ける仕組みの運用	保護者意見汲み取り実現する。見解や改善状況を学校だより等で報告する。重要案件について保護者意見を踏まえて成案とする。	保護者アンケート 保護者ニーズを踏まえた学校経営 90%以上	保護者ニーズを踏まえた学校経営 90.4%◎	●安心ルールについて保護者意見を踏まえて成案とする予定。 ●ブログは今期からアクセス数が急激に増えた。12月末累計7万2000件で、昨年度(7万)を大幅に越えると予測している。 ●保健人権部会は、2学期に教育政策課の講演協力、12月独自に講演と、保護者・地域の意見を集約すべく包括的性教育の大規模なイベントを行った。3月には集約した意見の提言がある見込み。	●保健人権部会は、活動資金の獲得の安定化が課題。今年度は調達イベントと地域コミュニティの助成で賄ってきた。今後はコミュニティ協議会に属しつつ外部の助成金に応募するなど安定的な獲得手段を構築する。
学校情報の積極的な発信	ブログ、学校だより等で学校情報を毎日積極的に発信する。	保護者(ア)学校の様子がよくわかる。90%以上 保護者(ア)学校の方針や教育の重点が明確である。90%以上	学校の様子がよくわかる。93.8%◎ 学校の方針や教育の重点が明確 90.1%◎				
保護者・地域主体の学校支援活動の発展	学校運営協議会を活性化し保護者・地域住民と新たな協働活動を行う。特に保健・人権分野(性教育)において事業を検討する。	保護者アンケート 保護者ニーズを踏まえた学校経営 90%以上	保護者ニーズを踏まえた学校経営 90.4%◎				

学校関係者評価(学校運営協議会または学校評議員と保護者からなる学校関係者評価委員会による)年度末	
評価結果	改善に向けた方策
学校の自己評価はおおむね妥当であるが、以下の点について、留意されたい。(詳細は学校運営協議会議事録に記載) ・トイレの衛生環境の向上について 関心の高い保護者にボランティア清掃活動に参加を促すべき。トイレの使い方について、引き続きご家庭での指導をお願いすべき。具体には、大人用の便器で下を全部脱がずに座る用の足し方について指導を依頼する。(便座等の汚れの原因になっている) 幼保子ども園にも、洋式トイレに座って用を足す指導をお願いすべき。(同上)新1年生の説明会で、座る指導を依頼すべき。(同上) 新1年保護者に実際にトイレを見てもらうべき。体の小さな1年生にとって奥まで座りにくいので、室内に手すりをつけてはどうか。(すでに個室もある) 続きは右記→	・保健人権部会の活動について 12月いのちのフェスタを踏まえた提言書案(「子どもたちの健康と人権を守る学びに関する提言書」)について、完成した提言書を市教委にも共有しておくこと。 来年度、包括的性教育を行う教職員の令和9年度配置を市教委に要望すること。 同提言書を踏まえて、包括的性教育の来年度の方針を次期教育計画に記載すべきこと。